

# Annual Report 2017

年間活動報告書

2017.4.1-2018.3.31



Visual Industry Promotion Organization  
特定非営利活動法人 映像産業振興機構



〒104-0045  
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル 2F  
TEL : 03-3543-7531  
FAX : 03-3543-7533  
URL : <http://www.vipo.or.jp/>

編集・発行  
特定非営利活動法人映像産業振興機構  
2018年6月19日発行



この紙は、適切に管理された森林の木材から作られました。  
また、インクは一部に植物油を使用して揮発性有機化合物の発生を抑えた「VEGETABLE OIL INK」を使用し、有害廃液を排出しない「水なし印刷」を採用しています。





## コンテンツの**未来**へ、 つながる、ひろがる。

コンテンツ業界に関わるすべての人たちへ  
VIPOは、「まなび」「つながり」の機会を提供し  
ビジネスの輪がひろがるよう、サポートしていきます。

### VIPOの 2つの事業テーマ

#### 人材育成

#### 市場開拓



#### ご挨拶

2017年度の年間活動報告をさせて頂くにあたり、日頃の皆様のご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。  
業界のジャンルの垣根を超えた新しい可能性がひとつでも多く生まれるようにとの思いのもと、新規事業の立ち上げやセミナー・イベントの定期開催、積極的な情報発信などを行ってきました。  
コンテンツ業界にとって不可欠な存在となるよう、VIPOだからこそ実施できる活動を引き続き進めてまいりますので、ご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



理事長 松谷孝征



専務理事・事務局長 市井三衛

# INDEX

P03 設立の経緯・組織図

P04 VIPO 会員社

## ▶ 人材育成事業

P05-06 ndjc:若手映画作家育成  
プロジェクト

P07-09 VIPOアカデミー

P10 •AFI Conservatory  
日本人留学生推薦事業  
•映画プロデューサー育成事業

P19-21 セミナー/ワークショップ

P23-24 •京都国際マンガ・アニメフェア  
(京まふ) 2017  
•京都映画企画市

## ▶ 市場開拓事業

P11-12 コ・フェスタ  
(JAPAN国際コンテンツ  
フェスティバル2017)

P13-15 コンテンツグローバル  
需要創出基盤整備事業

P16 ジャパンアンバサダー

P17 •先進コンテンツ技術による  
地域活性化促進事業  
•東京都 コンテンツ活用促進事業

P18 •著作権の権利関係情報集約化  
事業(JACC®)  
•JAPACON

P22 クリエイターを中心とした  
グローバルコンテンツ  
エコシステム創出事業費補助金

P24 京都府コンテンツ  
活用ビジネスセミナー

## ▶ その他

P22 2018年度 新規事業

P25-26 広報活動

## 設立の経緯

01 2004年3月の日本経済団体連合会の提言「『知的財産推進計画』の改訂に向けて」において、映像産業全般の振興を推進する機関の設置を提言。

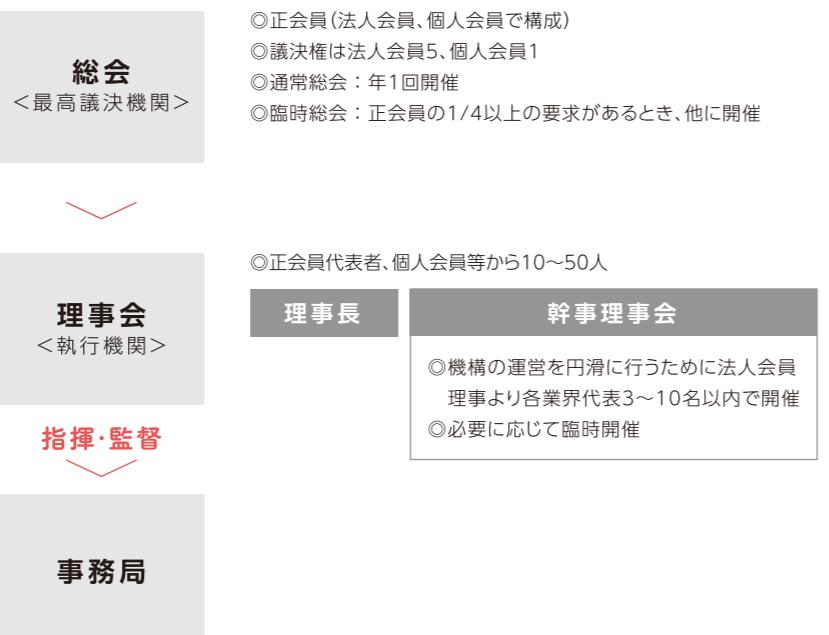
02 政府「知的財産推進計画2004」(2004年5月27日・知的財産戦略本部決定)の中に、2004年度に「映像産業振興機関の設立」を支援することが明記。

03 6月より経団連エンターテインメント・コンテンツ産業部会(人材育成分科会)で検討を開始するとともに、日本映画製作者連盟、日本民間放送連盟、日本動画協会等と連絡をとりつつ実務の検討を進める。また内閣官房知財推進本部、総務省、文部科学省、経済産業省、関係自治体とも調整。

04 11月、映像産業関連事業者を中心とする設立準備委員会を立ち上げ、同機構の事業内容等について詳細を固めた上で12月6日に設立総会を開催。

05 その後直ちに内閣府にNPO法人の申請を行い、2005年6月、認証。

## 組織図



## 総会・理事会・幹事理事会 開催実績

### 総会

平成29年6月21日  
平成29年7月25日(臨時)

### 理事会

第36回理事会 平成29年6月5日  
第37回理事会 平成29年6月21日  
第38回理事会 平成29年7月13日  
第39回理事会 平成29年7月25日  
第40回理事会 平成29年11月28日

### 幹事理事会

第39回幹事理事会 平成29年6月5日  
第40回幹事理事会 平成29年11月28日

## VIPO 会員社 (五十音順)

● … 2017年度新規会員

2018年3月31日現在

株式会社秋田放送

株式会社アサツーディ・ケイ

アソビシステム株式会社

アメリカン・モーション・ピクチャ・ゾシエーション・オブ・ジャパン

株式会社IMAGICA

株式会社イマジカデジタルスケープ

株式会社インジェスター

一般社団法人映画産業団体連合会

一般社団法人衛星放送協会

公益社団法人映像文化製作者連盟

エイベックス・ピクチャーズ株式会社

株式会社エスピーオー

株式会社NHKエンタープライズ

大蔵映画株式会社

一般社団法人外国映画輸入配給協会

株式会社KADOKAWA

株式会社カプコン

株式会社キネマ旬報社

株式会社キノフィルムズ

ギャガ株式会社

キングレコード株式会社

株式会社クオラス

株式会社クリーク・アンド・リバー社

株式会社講談社

株式会社コーエーテクモゲームス

● 株式会社コナミデジタルエンタテインメント

一般社団法人コンサートプロモーターズ協会

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会

埼玉県影の国ビジュアルプラザ

● 株式会社SANKYO

株式会社サンライズ

株式会社サンリオ

松竹株式会社

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

セガサミーホールディングス株式会社

全国興行生活衛生同業組合連合会

一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟

株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

ソニーPCL株式会社

株式会社第一興商

高津装飾美術株式会社

株式会社W TOKYO

株式会社ダブルエル

有限公司ティーアイ・コムネット

株式会社TBSテレビ

株式会社ティーウィリミッド

株式会社デジタルSKIPステーション

株式会社手塚プロダクション

株式会社テレビ朝日

株式会社テレビ東京

株式会社電通

東映株式会社

東映アニメーション株式会社

東映ラボ・テック株式会社

TOKYO DESIGN WEEK株式会社

東宝株式会社

学校法人東放学園 東放学園専門学校

東宝東和株式会社

株式会社東北新社

株式会社トーセ

株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ

株式会社ドリーミュージック

中日本興業株式会社

名古屋テレビ放送株式会社

日活株式会社

株式会社日経BP

日本コロムビア株式会社

日本アカデミー賞協会

日本アニメーション株式会社

協同組合日本映画製作者協会

一般社団法人日本映画製作者連盟

一般社団法人日本映画テレビ技術協会

一般社団法人日本映像ソフト協会

一般社団法人日本音楽制作者連盟

日本テレビ放送網株式会社

一般社団法人日本動画協会

一般社団法人日本民間放送連盟

● 一般社団法人日本ライセンシング・ビジネス協会

一般社団法人日本レコード協会

株式会社博報堂

株式会社パップ

ぴあ株式会社

株式会社フジテレビジョン

● 特定非営利活動法人プロードバンド・ソシエーション

富士フィルム株式会社

ブロードメディア・スタジオ株式会社

ホクエツ印刷株式会社

株式会社ポケモン

株式会社ボニー・キャニオン

株式会社ホリプロ

三菱電機株式会社

武蔵野興業株式会社

ユニバーサルミュージック合同会社

● UBMジャパン株式会社

吉本興業株式会社

讀賣テレビ放送株式会社

株式会社ラパン

● リードエグジビションジャパン株式会社

琉球放送株式会社

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン

株式会社WOWOW

【賛助会員】

鹿島建設株式会社

株式会社さんでん東京本社

スカパーJSAT株式会社

ソニー株式会社

高砂熱学工業株式会社

トヨタ自動車株式会社

日本電信電話株式会社

株式会社みずほ銀行

三井不動産株式会社

合計 111 社・団体 (個人会員除く)



## 12年間で、62名の作家が製作実地研修（短編映画制作）に参加 ここから長編映画監督が続々と誕生しています

文化庁の委託を受けて2006年度よりスタートした「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」。優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップや製作実地研修を実施するとともに、作品発表の場を提供することで、次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目指しています。



2011年度参加作家、中江和仁監督作品

『嘘を愛する女』（長澤まさみ、高橋一生出演の話題作）が、

2018年1月に全国拡大公開！さらに続々とndjc参加作家が長編映画デビュー！

**中江和仁監督(ndjc2011)**

『嘘を愛する女』（2018年1月20日公開）

配給：東宝 監督：中江和仁／脚本：中江和仁、近藤希実  
出演：長澤まさみ、高橋一生、吉田鋼太郎

**堀江貴大監督(ndjc2015)**

『ANIMAを撃て!』（2018年3月31日公開）

配給：アティカス 監督・脚本：堀江貴大  
出演：服部彩加、小柳友、大鶴義丹

**文 崑豪監督(ndjc2013)**

『五億円のじんせい』（仮題）2018年5月クランクイン！

## ndjc2017 実施概要

### 5月 作家の公募

・映画関係団体等から推薦された作家の中から、ワークショップ参加作家を決定

### 6月

### 7月 ワークショップ

・同一の条件下で、共通のテーマに沿った完成尺5分以内の作品を制作



ワークショップ

### 8月

### 9月 製作実地研修

・35mmフィルム撮影による25分以上30分以内の短編映画を制作  
(脚本開発～撮影～仕上げ～完成)



製作実地研修

### 10月

### 11月 合評上映会・講評会

・主要都市での映画関係者、一般モニター等を対象とした合評上映会

・講評会を実施し、作家へフィードバック

・東京、大阪、そして初の名古屋で一般向け劇場公開

・脚本指導講評会



作品講評会

### 12月

### 1月 合評上映会・講評会

・主要都市での映画関係者、一般モニター等を対象とした合評上映会

・講評会を実施し、作家へフィードバック

・東京、大阪、そして初の名古屋で一般向け劇場公開

・脚本指導講評会



合評上映会(東京会場)

## ndjc2017 製作実地研修参加作家と完成作品



監督 池田 晓  
『化け物と女』



監督 奥野 俊作  
『カレーライス Curry and Rice』



監督 金 晋弘  
『もんちゃん』

[作家推薦団体]  
PFF  
[制作プロダクション]  
東映東京撮影所  
[出演]  
熊倉一美、きたろう、有薗芳記、芝博文、よこえとも子

[作家推薦団体]  
日本映画製作者協会  
[制作プロダクション]  
東宝映画  
[出演]  
井之脇海、安藤ニコ、松浦祐也、矢柴俊博、岩谷健司

[作家推薦団体]  
東京藝術大学大学院映像研究科映画専攻  
[制作プロダクション]  
ツインズジャパン  
[出演]  
大和田賢、眞島秀和、平尾菜々花、  
榎本梨乃、中村映里子



監督 齋藤 栄美  
『トキヨーカプセル』



監督 中川 和博  
『さらば、ダイヤモンド』



[作家推薦団体]  
シナリオ・センター  
[制作プロダクション]  
アルタミラピクチャーズ  
[出演]  
リリカ、川合諒、菅原大吉

[作家推薦団体]  
PFF  
[制作プロダクション]  
東北新社  
[出演]  
伊藤祐輝、伊藤毅、佐藤祐基、橋本真実

**VIPOアカデミー**

自主事業

コンテンツ業界のリーダー育成を目的として、業界に最適化された独自の教育プログラムを提供する人材育成事業



**ビジネススキルの習得だけでなく  
ジャンルを超えて共に学んだ受講者によるネットワークは  
新しいビジネスへのきっかけになっています**

VIPOアカデミーは2015年度にスタートしたコンテンツ業界のリーダー育成を目的とした人材育成事業で業界向けにカスタマイズしたプログラムを実施しています。経営幹部人材を育成する「コーポレートリーダーコース」と、現場のマネジメント力を強化する「プロジェクトリーダーコース」は、スキルアップや受講者同士のネットワーク構築に加え、会社間のコラボレーションのきっかけの

場になりました。また、コンテンツ業界各ジャンルの基礎的な知識を横断的に習得できる「業界研究ベーシックコース」、グローバルで戦うビジネス力を磨く「グローバルビジネスコース」、法律や会計の知識を学ぶ「リーガル・エッセンシャルコース」「ファイナンス・エッセンシャルコース」など全6コースで2017年度は延べ56社142名の受講がありました。



全6コースの卒業生を対象とした「合同同窓会」を2月21日に開催しました。多くの卒業生にご参加いただき、懇親会では活発な交流が行われました。



登壇者 水野道訓氏  
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 代表取締役CEO  
リーダーとしての視点・マインドの醸成を目的に、コンテンツ業界の経営者やプロデューサーをお招きし、キャリアやビジョン、成功体験・失敗談を伺いました。



業界各社の経営層から受講者の上司まで、多くの方にお集まりいただき、受講者が学びの成果を発表しました。

## 2017年度開講内容

### コーポレートリーダーコース (管理職向け)

講義と演習、グループ活動を通して、経営戦略、ファイナンス、ビジネスプランニング、プレゼンテーション、リーダーシップの知識やノウハウを身につけることで、企業の成長・発展に貢献するコーポレートリーダー(経営幹部人材)を育成します。

第6期2017年5月14日～7月27日  
第7期2017年9月10日～12月14日

#### 目的

- ▶ 経営者の視点を養い、経営幹部になるために必要とされる経営スキルを身につける
- ▶ コーポレートリーダーとして必要なスキルを習得し、リーダーシップを最大限に引き出す
- ▶ 他社のリーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

### プロジェクトリーダーコース (中堅社員向け)

講義と演習、グループ活動を通して、企画力(ロジカルシンキング、ファイナンス、発想力)と推進力(プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、プレゼンテーション)を強化することで、クオリティとスピードを両立させ、周囲を巻き込んでプロジェクトを成功に導くプロジェクトリーダーを育成します。

第4期2017年5月20日～7月18日  
第5期2017年9月9日～11月28日

#### 目的

- ▶ プロジェクトリーダーとして活躍するために必要なビジネススキルを身につける
- ▶ 他社のリーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

### 業界研究ベーシックコース (各ジャンルの基礎知識を習得したい方向け)

コンテンツ業界の各ジャンル(映画・出版・音楽・テレビ・アニメ・ゲーム・キャラクター)とその展開エリアのマーケットやビジネスモデルを理解し、それぞれの成功パターンを学ぶことで、ジャンルを越えたコンテンツビジネスを生みだせる人材を育成する。

第4期2017年5月17日～8月2日  
第5期2017年9月13日～11月29日

#### 目的

- ▶ コンテンツ業界の各ジャンルのビジネスを理解する
- ▶ コンテンツ業界の成功パターンを学ぶ
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役に立つネットワークを構築する

### グローバルビジネスコース (仕事で英語を使う方向け)

実践を重視した日本語での講義と英語での演習を通して、英語でのビジネス力(コミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力)を強化することで、グローバルシーンにおいて活躍できる人材を育成します。

第3期2017年5月19日～7月21日  
第4期2017年10月13日～12月15日

#### 目的

- ▶ グローバルシーンで通用するコミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力を身につける
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役に立つネットワークを構築する

### リーガル・エッセンシャルコース (法律の基礎知識を習得したい方向け)

コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠な、著作権、ライセンス、契約などのリーガル知識を身につけることで、契約トラブルを未然に防ぎ、ビジネスを広げていける人材を育成します。

第3期2017年5月16日～6月27日  
第4期2017年9月12日～10月24日  
第5期2018年2月6日～3月13日

#### 目的

- ▶ コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠なリーガル知識を身につけ、ビジネスを広げていける人材を育成する
- ▶ 今後のビジネスに役立つネットワークを構築する

### ファイナンス・エッセンシャルコース (会計の基礎知識を習得したい方向け)

コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠な、財務諸表、プロジェクト会計、予算管理などのファイナンス知識を身につけることで、会社やプロジェクトの数字を常に意識しながら業務を取り組むことができる人材を育成します。

第4期2017年6月8日～7月20日  
第5期2017年11月2日～12月14日

#### 目的

- ▶ コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠なファイナンスの知識を身につけ、会社やプロジェクトの数字を常に意識しながら業務に取り組むことができる人材を育成する
- ▶ 今後のビジネスに役立つネットワークを構築する

## 各コースに参加した受講者の感想

### コーポレートリーダーコース受講



エイベックス株式会社 高木 誠吾 様

「アプローチ方法を学ぶことで視野が広がりました。」

学んだことを普段の業務で実践して受講者メンバーで共有するなどアウトプットの機会が多いことで、より深く研修内容を身に着けることができました。研修で一番学んだことは自分自身のアプローチ方法をいかに工夫してポジティブに人を動かすことが重要だということで、日々の業務でも実践することで円滑なコミュニケーションがとれています。また、他のコンテンツ業界の方とのディスカッションはいろんな角度からの考え方や刺激をうけることができ、自分自身の視野を広げることもできました。

### プロジェクトリーダーコース受講



松竹株式会社 武藤 寛征 様

「出会えた仲間は私にとって貴重な財産」

約3ヶ月にわたる「学習と実践」の繰り返しが、本当に有意義な経験となりました。日々の業務とは一線を画して学習する時間を作ること、書籍やセミナーで“なんとなく学んだ気”になっていたことを、実践を通して体得することがプログラムとしての一番の魅力だと思います。また、他社の方々と業務を通じた交流ではなく、仲間として交流できたことは私にとって貴重な財産となりました。ここで出会えた仲間とともに、コンテンツ業界の発展に寄与できるよう頑張りたいと思います。

### グローバルビジネスコース受講



株式会社トムス・エンタテインメント 田中 康太 様

「英語での交渉に自信を持つことができました」

グローバルビジネスコースを通して、英語でのコミュニケーションやプレゼンテーションの方法について具体的に学ぶことができ大変勉強になりました。また、先生や他の受講者との双方向的な受講を基本とするセミナーでしたので、その場で学んだことをすぐに実践できただけではなく、他の受講者と意見交換ができ、非常に有意義な時間となりました。セミナー後は、以前よりも自信を持って英語での交渉ができるようになり、今後の業務でも学んだことを活かしていきたいと思います。

### リーガル・エッセンシャルコース受講



株式会社ポニーキャニオン 中村 真帆 様

「“そこが知りたかった!”という業務に即した内容が学べる」

VIPOアカデミーの講座では、コンテンツ周辺の法律概論から、「そこが知りたかった!」という実務的内容についてまで学ぶことができました。ここまで業務に即した内容を取り扱ってくださる講座は初めてだったように思います。先生方との距離が近く質問し易い環境でもあったので、消化不良を起こすことなく受講することができました。コンテンツの多様化、複雑化に対応できる人材になるべく講座で学んだことを活かしていきたいと思います。

### ファイナンス・エッセンシャルコース受講



ぴあ株式会社 島田 光太郎 様

「若手の方にぜひおすすめです!」

本コースを受講して、企業に属する上で必要不可欠な数字の意識が高まりました。若手社員という目の前の業務に忙殺されがちな時期にこそ、しっかりと時間を取って学ぶことが重要だと感じました。また、同期に受講した皆さんのお話を伺うことで異なる分野のビジネスモデルにも触ることができ、視野が更に広がりました。長い社会人生活の中できっと活きてくる内容だと思いますので、若手の方にぜひおすすめしたいセミナーです。

## 公式サイトを新たにオープン

2018年2月に「VIPOアカデミー」の公式サイトを新たに立ち上げ、公開いたしました。各コースに関する詳しい情報に加え、今後は人材育成に役立つ情報等をタイムリーに発信していきます。

「VIPOアカデミー」の公式サイトURL

<https://vipo-academy.jp/>



## AFI Conservatory 日本人留学生 推薦事業

自主事業

### AFIとは

米国の国家的な機関として、映像教育でのリーダーシップを発揮し、映画、テレビ、デジタル・メディアといった芸術分野において、その存在価値と卓越性が高く評価されています。AFIの教育機関であるAFI Conservatoryでは、撮影監督、監督、編集、プロデューサー、美術、脚本家のプロを育てるために制作実践、現場主義を基本とし、映画やテレビの世界からの実務プロフェッショナルで組織された指導者陣が教鞭をとっています。



## CINEMART

## 映画プロデューサー 育成事業

自主事業

### 「Rotterdam Lab」とは

「ロッテルダム国際映画祭」が、1983年に世界で初めて立ち上げた映画企画マーケット「CineMart」により、2001年から運営されている新進プロデューサー対象のワークショップです。産業としての映画製作の現場で活躍するプロデューサー養成の場として、実践、現場主義を基本とし、映画やテレビの世界からの実務プロフェッショナルで組織された指導者陣が熱心に指導を行っています。近年は、参加国、参加者ともに増加しており、多くのプロデューサーが、その後「CineMart」やロッテルダム映画祭に作品とともに戻ってきてています。世界各国からプロデューサーが集まってきたため、国際共同製作にも繋がっています。

将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すと共に、日本の映画企画や若手クリエーターが世界に出ていく仕組みを構築する事を目的とし、AFI (American Film Institute)Conservatory へ留学を希望する日本人の推薦活動を行っています。2017年度は2018年秋学期に志願を予定する日本人留学生を対象に、推薦学生を募集しました。



将来の映像産業を担うプロフェッショナルの育成を目指すとともに、日本の映画企画の国際化を推進することを目的とし、オランダ「ロッテルダム国際映画祭」の企画マーケット「CineMart」(シネマート)とパートナーシップを締結しました。

今後、「CineMart」の公式パートナーとして、世界の映画業界で活躍できるプロデューサーの育成に本格的に取り組みます。

第一弾の取り組みとして、「CineMart」が運営する「Rotterdam Lab」(プロデューサー養成ラボ、期間:2018年1月27日~31日)に、映画『溺れるナイフ』の山戸結希監督を派遣しました。



### 「ロッテルダム国際映画祭」

1972年に始まり、カンヌ、ベルリン、ヴェネチアの三大映画祭に継ぐロカルノ映画祭などに並ぶ最重要の国際映画祭の一つ



## CoFesta 2017 コ・フェスタ JAPAN国際コンテンツ フェスティバル2017

経済産業省 委託事業

### 日本が誇るコンテンツの魅力を効果的に海外に発信

「コ・フェスタ」は、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントを効果的に海外に発信するための海外発信力強化支援プロジェクト

#### イベント連携

イベント間の協力体制を構築するビジネスマッチング連携会議の実施や、コンテンツとスポーツのコラボレーション、コンテンツを主軸とするオープンイノベーションを促進するため、コンテンツ産業と他産業との連携を図る施策を行ないました。

#### ■コ・フェスタ連携セミナー

コ・フェスタイベントであるJCIS、DCEXPOと連携したセミナー、スポーツとコンテンツの融合事例紹介セミナー、ツーリズムEXPOジャパンでの他産業へ向けたセミナーなどを実施しました。



#### 情報発信

オフィシャルHP、コ・フェスタ アンバサダーFacebook、公式YouTubeチャンネル、英語での日本コンテンツ情報サイト“JAPACON”を通して発信しました。JAPACONのFacebookでは2018年3月末時点で98万いいね!を獲得しました。また、海外で影響力を持つインフルエンサーや世界各地からの留学生を組織化したコ・フェスタ アンバサダーによる各イベント取材とSNS等を通じたプロモーション、留学生アンバサダーの声を活用したマーケティングを行ないました。

#### 調査

東南アジア・イギリスなどで開催された海外パートナー6イベントやコ・フェスタ アンバサダーネットワークから、48の国と地域の3200人もの日本コンテンツファンを対象に「日本コンテンツに関するニーズ調査」を実施しました。



#### ■コ・フェスタ百人委員会（通称：百人委員会）

コ・フェスタを広く経済界から支援するため、日本を代表する企業103社から構成されており、百人委員会の委員長には三菱電機株式会社相談役の下村節宏氏が就任しています。

#### コ・フェスタ アンバサダー

コ・フェスタイベントや日本コンテンツをより多くの海外消費者にアピールするために、日本コンテンツ・ファンである世界41の国・地域からの留学生204名が「コ・フェスタ アンバサダー」として活動しました。コ・フェスタイベントの取材などを通じて、多くの日本コンテンツに触れ、SNSでの情報発信やコンテンツ関係者との意見交換、また、イベント運営への協力や自国の市場・消費者調査など、様々な形で日本のコンテンツの海外展開を支援しています。



#### ■コ・フェスタ アンバサダーの主な活動

- イベント支援（多言語対応スタッフ派遣、ガイドツアー協力等）
- イベントツアー実施とSNSでの情報発信
- 海外市場・消費者・トレンド調査協力

#### ■動画シリーズ「Everyday Japan」（全9回）

海外の日本コンテンツファン向けにコ・フェスタアンバサダーが日本の魅力を紹介。2018年3月末での再生回数は117万回を記録しました。



#### コ・フェスタイベント2017一覧

コ・フェスタ2017では、国内および海外の日本コンテンツに関わる多種多様な42イベントが参加、総来場者数は301万人を超えるました。

開催時期順

#### コアイベント

- 東京ゲームショウ2017
- Japan Content Showcase 2017
- ・ 第14回東京国際ミュージック・マーケット (TIMM)
- ・ TIFFCOM2017 Marketplace for Film & TV in Asia
- ・ 東京国際アニメ祭2017秋(TIAF)
- 第30回東京国際映画祭
- AnimeJapan 2018

#### オフィシャルイベント

- KYOTO CMEX 2017
- 第20回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展
- CEATEC JAPAN 2017
- 第44回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール
- Amazon Fashion Week TOKYO 2018 S/S
- 国際ドラマフェスティバル in Tokyo 2017  
(東京ドラマアウード2017)
- デジタルコンテンツEXPO 2017
- Tokyo Docs 2017
- Inter BEE 2017
- 2017国際ロボット展
- マンガフェスティバル in ベトナム

#### パートナーイベント

- 第33回ATP賞テレビグランプリ
- SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2017
- 第42回湯布院映画祭
- C3 AFA TOKYO 2017
- 京都国際マンガ・アニメフェア2017
- 第39回PFF(ぴあフィルムフェスティバル)
- 吉祥寺アニメマンダーランド2017
- マジカル福島2017
- No Maps 2017
- きものサローネ in 日本橋2017
- 第9回京都ヒストリカ国際映画祭
- MPTE AWARDS 2017 第70回表彰式
- 第11回アジア国際子ども映画祭
- 第8回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2017」
- ヨコハマ・フトボール映画祭2018
- 第6回まんが王国とつり国際マンガコンテスト 表彰式・マンガアワードSHOW
- 東京アニメアワードフェスティバル2018

#### 海外パートナーイベント

- Anime Expo 2017
- HYPER JAPAN
- 2017年 Comic Exhibition 漫画博覧会
- C3 AFA JAKARTA 2017
- JAPAN EXPO IN THAILAND 2017
- Japan Expo India 2017
- C3 AFA SINGAPORE 2017
- India Gaming Show 2018
- C3 AFA HONG KONG 2018
- Madman Anime Festival - Perth 2018



## コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業

経済産業省 補助事業

日本コンテンツの海外展開を促進する補助金(事業期間は2016年12月から2018年3月まで)、国内外のコンテンツ産業の最新動向をテーマとしたセミナーやビジネスマッチング等を開催

経済産業省の平成28年度予算による「コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業費補助金」(約60億円)を受け、

- ①コンテンツ等海外展開支援事業(J-LOP4)に加え、
- ②コンテンツ等流通促進事業を実施するもので、

コンテンツ等の海外展開を促進し、「日本ブーム創出」にともなう「関連産業の海外展開の拡大」につなげることを目的に活動しました。

### ①コンテンツ等海外展開支援事業(J-LOP4)



日本コンテンツ(映像、音楽、ゲーム、出版、キャラクター)の海外展開に必要なローカライズおよびプロモーションを行う事業に対し、その費用負担を軽減するため必要経費の一部を補助するものです。



映像  
番組 映画  
アニメ など



音楽  
音楽配信  
ライブ など



ゲーム  
家庭用ゲーム  
モバイルゲーム など



出版  
電子コミック  
電子書籍 など



キャラクター  
マスコット  
ゆるキャラ など

#### 交付決定結果

▶ 2016年12月から2017年11月までの補助金公募期間において

交付決定件数  
**968件**

交付決定事業者数  
**410社**

#### 主な活動内容

- ▶ 申請を検討する事業について相談を受ける「個別相談会」を毎週開催しました。また、メールや電話での相談も随時受け付けました。
- ▶ 補助金の対象や申請方法などを紹介する「一般説明会」を毎月定期的に開催するほか、地方経済産業局と共に沖縄・福岡・大阪・札幌など9か所において地域説明会を開催し、合計1,198名の参加がありました。
- ▶ 交付決定した全案件について、事業検査、経理検査、補助額の確定作業、および補助金の支払いを行いました。

## J-LOP4 活用事例

採択事業の中から一部の活用事例をご紹介

### 1.ローカライズ

#### 『メアリと魔女の花』

株式会社スタジオポノック  
英語字幕制作  
発信先：全世界



#### 『モンスター・ハンター：ワールド』

株式会社カプコン  
フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、韓国語、繁体字、アラビア語、ポーランド語、ロシア語、ブラジルポルトガル語への翻訳  
発信先：PlayStation®4, Xbox One



#### 『ベイブレードバースト』

株式会社ディーライツ  
英語吹替版制作  
配信先：Disney XD、他



### 2.プロモーション

#### 「JAPAN EXPO2017」における『ルパン三世』プロモーション

株式会社トムス・エンタテインメント  
フランスで開催された「JAPAN EXPO 2017」(2017年7月6日～7月9日)において主にフランスを舞台とした『ルパン三世PART5』の露出メディアの獲得と作品の展開促進を図った。『ルパン三世PART5』企画プロデュース・加藤州平氏、『ルパン三世PART4』総監督・友永氏とそのプロデューサー・淨園氏、『ルパン三世PART5』企画・制作本部長・加藤良太氏の4名をゲストに迎え、壇上においてトークショーを実施。

#### 「台北映画祭」にて『この世界の片隅に』をプロモーション

株式会社ジェンコ  
「台北映画祭」(2017年7月8日、9日)で、アニメーション映画『この世界の片隅に』のプロモーションを実施。  
共同記者会見後の招待上映では、主演の声を担当した女優のんさんと、プロデューサーが舞台挨拶および質問応答を行った。また翌日は台北市内にて、台湾メディア10社以上の単独インタビュー取材を実施。7月28日から始まった台湾での一般公開は、56館でスタートする大規模な公開となった。

#### 「Anisong Fantasy Live 2017」を実施し、出演アーティストのプロモーションを展開

株式会社Zappライブ  
2017年3月、香港のQueen Elizabeth Stadium及びシンガポールのMegabox Event Hall @ Bigboxにてアニソングライブイベント「Anisong Fantasy Live 2017」(2017年3月10日)を実施し、出演アーティストのプロモーションを行った。本事業のライブイベントには、株式会社ソニー・ミュージックレーベルズに所属するアニソングアーティスト6組(『Aimer』『GARNiDELiA』『Kalafina』『瀧川ありさ』『ELISA』『春奈るな』)が出演。香港と、シンガポールの2都市で共通ラインナップのコンサートを行い、連動プロモーションを展開した。集客数は香港1,883人、シンガポール1,233人を実現。



# 市場開拓

## ②コンテンツ等流通促進事業

国内外のコンテンツ産業の最新動向をテーマとしたセミナーやビジネスマッチング等を開催することにより、海外展開を希望している企業にとって有益な情報を発信し、日本のコンテンツホルダーと海外バイヤーとのビジネスマッチングの機会の増加を図りました。

### 開催実績例

▶ 2017年10月30日(月)

#### 「アヌシー国際アニメーション映画祭」紹介セミナー

「アヌシー国際アニメーション映画祭」トップのマルセル・ジャン氏、併設見本市「MIFA」トップのミカエル・マラン氏を招聘し、アニメーションに特化した映画祭の歴史とその開催意義、そして配給・制作・技術/教育とアニメーション産業全体のピッチングやマッチングの場としてのMIFAの魅力とビジネス効果についてプレゼンテーションを行いました。日本代表の山口晶氏からは、参加・出展に関する具体的な説明があり、モレーテーを交えたQ&Aでは活発な意見交換が行われ、約70名が参加しました。



▶ 2017年12月7日(木)

#### 「日中コンテンツIPフォーラム及びビジネスマッチング」

中国進出を検討している日本コンテンツ企業と中国コンテンツ企業とのフォーラム及びビジネスマッチングを中国北京で開催しました。フォーラムには日本コンテンツに興味を持っている約100名の中国企業や団体が参加、ビジネスマッチングは約50件の商談が行われました。



▶ 2018年3月23日(金)

#### 「オンラインとリアル」北米アニメ市場攻略法セミナー

「北米オンラインマーケット最前線」「リアルマーケティングストラテジー」という2つのテーマで北米よりパネリストを招聘し、これからの北米マーケットへ日本のコンテンツを的確に展開していくための攻略法セミナーを行いました。パネルディスカッションや名刺交換会を実施し、約200名のコンテンツ事業者が参加しました。



### VISSの構築

「コンテンツ等流通促進事業」の一環として、「VIPO Integrated Support System(略称:VISS)」を構築しました。これは、日本のコンテンツの海外展開に必要なリスト類の整備事業であると同時に、今後VIPOの事業のベースの一つとなるものです。

現在、VISSは① バイヤーズリスト、② 海外イベントデータベース、③ ローカライズ事業者リスト、④ 商品化エージェントリスト、⑤ 発信事業者リスト、⑥ 国別共同製作支援制度情報、⑦ 国別表現規制情報等で構成されています。



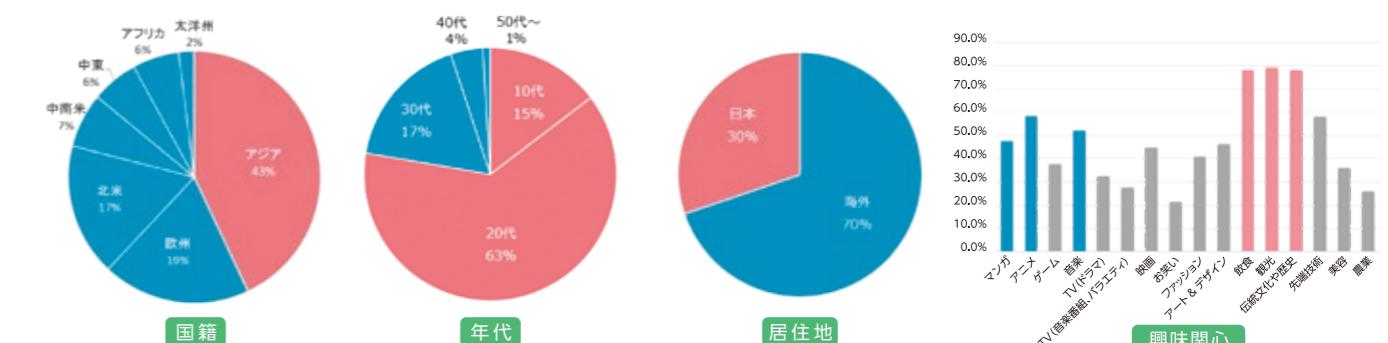
日本文化を愛する外国人(ジャパンアンバサダー)によるSNSプロモーション、調査、多言語対応支援、体験モニターなど様々なサービスを提供しています。

日本文化が好きで、その魅力を広めたい熱意を持ち、実際に交流や発信活動を日常的に行っている外国人が集まっているため、高いモチベーションを持って海外展開に関する課題に取り組みます。

海外展開に関する様々な課題を4つの視点から解決します。

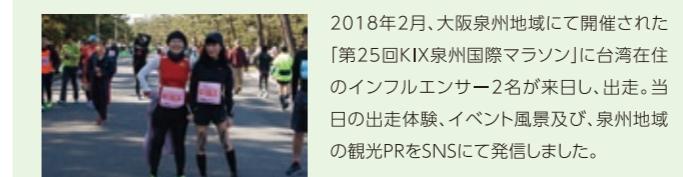


108の国・地域出身、9,887名の外国人が登録(2018年3月現在)



### 事例

#### 体験+発信 KIX泉州国際マラソン



2018年2月、大阪泉州地域にて開催された「第25回KIX泉州国際マラソン」に台湾在住のインフルエンサー2名が来日し、出走。当日の出走体験、イベント風景及び、泉州地域の観光PRをSNSにて発信しました。

#### 体験+発信 鳥取県・観光交流局まんが王国官房



2018年2月に開催された「第6回まんが王国」と「トリ国際マンガコンテスト表彰式」と、水木しげるロード・青山剛昌ふるさと館・鳥取砂丘コナン空港・鳥取砂丘といった観光名所を中国・香港・台湾・韓国出身の日本在住インフルエンサーが体験、海外に向けてSNSで発信しました。

#### 調査 内閣府・知的財産戦略推進事務局 「クールジャパンの再生産のための外国人意識調査」

外国人の視点から、クールジャパンのエッセンス(日本の何が、どのような外国人を、なぜ惹きつけるのか)を検討し、将来にわたってクールジャパンが再生産される仕組みを構築する一助となるための調査を、グループインタビューとアンケートの2段階で実施、報告書にまとめました。

報告書は下記にてご覧になれます。  
内閣府ホームページ：[http://www.ao.go.jp/cool\\_japan/report/report.html](http://www.ao.go.jp/cool_japan/report/report.html)

#### 多言語対応 一般財団法人音楽産業・文化振興財団(PROMIC)



2018年3月に行なわれたAnimeJapan2018のPROMICブースにて、英語と中国語が堪能な日本在住のジャパンアンバサダー3名がサービス(JAMLAB.)の紹介と通訳を致しました。

## 先進コンテンツ技術による 地域活性化促進事業

経済産業省 補助事業

### ●事例紹介(採択事業者 全14社より抜粋)

株式会社IMAGICA

地球がむき出しの島 三宅島  
リアル自然体験VRコンテンツ  
制作



株式会社五藤光学研究所

360° 全球ドローンによる  
石川県を体感するVRコンテンツ



株式会社テレビ熊本

あの日を忘れないために!  
熊本城VR動画コンテンツ制作  
プロジェクト



株式会社NHKエンタープライズ

360° カメラや超広角レンズを  
使用した歌舞伎コンテンツによる  
地域経済の活性化



ソニー企業株式会社

ARテーマパーク(聖地巡礼)  
～スマホアプリと街の新たな関係～



東海テレビ放送株式会社

360° VRアプリ「VR TOKAI」  
による観光ルート「昇龍道」  
情報発信事業



### ●実施報告／『VR等のコンテンツ制作技術活用ガイドライン2018』公開のご案内

本事業の報告書(全2部構成)をVIPOサイトにて公開しています。ぜひご活用ください。

#### 【第I部】VR等のコンテンツ制作技術活用ガイドライン2018

本ガイドラインは、VR/AR技術によるコンテンツ制作の導入により、市場に上質なコンテンツ体験が提供され、新しい分野も含めた業界の市場拡大が実現することを目的としており、各分野の有識者によりまとめられています。

VRコンテンツを企画・制作する実際の手法や、上質な体験を実現するために注意するべき開発上のポイントなど、実践的な内容やこれまでに共有されてきた知見などを中心に紹介しています。

※なお、本ガイドラインの概要を説明した「How to make VR content」も公開しています。

#### 【第II部】コンテンツ制作に向けて

第II部では、VR/AR技術を取り巻くIoT、ビッグデータ、AI、ドローンなどの先進技術や最新動向に加え、Appendixとして本事業の採択事業者へのアンケート結果も収録しています。

## 東京都 コンテンツ活用 促進事業

市場開拓 東京都 受託事業

「製造」

分野の企業

「医療」

分野の企業

「教育」

分野の企業

東京都の平成29年度予算による「コンテンツ活用促進事業」の実施運営等を受託し、コンテンツ産業の発展に向けて、コンテンツ産業と他の産業との交流を促し、コンテンツ活用の裾野を広げていくことを目的に、「コンテンツ活用促進セミナー&コンテンツ企業×異業種企業マッチング交流会」を開催しました。

×コンテンツ企業  
\*定員100名  
(うち異業種企業29社、  
コンテンツ企業42社)



## 著作権の権利関係情報 集約化事業(JACC®)

自主事業



Japan Content Catalog(略称:JACC®)は、①映画、②テレビ番組、③アニメ&キャラクター、④音楽、⑤ゲーム、⑥脚本、⑦ロケーションなどの各コンテンツのジャンルで構築したデータベースを一括検索システム「JACC®サーチ」で繋げ、コンテンツの基本情報や問い合わせ窓口情報を横断的に検索することができるデータベースプロジェクトです。日英対応となっており、日本コンテンツの著作権の利用を円滑にし、著作物を活用した国内外バイヤーとのマッチングを促進します。「JACC®サーチ」の対象となるデータベースは以下の7つで、2018年5月7日時点の英語での収載コンテンツ総数は24,000件以上です。



### 一括検索機能

#### JACC®サーチ

担当事業者：株式会社角川アスキー総合研究所  
<http://japancontentcatalog.jp>



#### ② テレビ番組



担当事業者：株式会社IMAGICA  
<https://jcc-tv.foyer-online.com>

#### ④ 音楽



担当事業者：一般社団法人融合研究所  
<http://syncmusic-artists.jp>

#### ⑥ 脚本データベース



運営事業者：  
一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム  
<http://db.nkac.or.jp>

#### ⑤ ゲーム



担当事業者：株式会社IMAGICA  
<https://jcc-game.foyer-online.com>

#### ⑦ ロケーション



運営事業者：文化庁  
<https://www.jldb.bunka.go.jp>  
※登録商標“JACC”は、当機関が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。

## JAPACON

自主事業



2017年4月1日より、コンテンツポータルサイト運営協議会から下記のサイト等にかかる運営を引き継ぎ、活動しています。

JAPACONサイト(<https://www.japancontent.jp/>)

JAPACON SNSページ(<https://www.facebook.com/japancontent/>)

JAPACONは下記に掲げる3項目を目的に活動を行っています。

1. 海外へのコンテンツ流通の促進
2. クールジャパン情報の集積と海外発信
3. 全国の良質なコンテンツ収集と海外への発信

# 人材育成

## コンテンツ業界向け セミナー＆ワークショップ

自主事業

### ワークショップ アクターズワークショップ

将来の映像産業を担う俳優の発掘と育成を目指し、第一線で活躍する映画監督による、俳優養成の2日間集中講座を2017年度は2回開催。講義、映画用台本による少人数分けグループの実践的な芝居レッスンを実施。2日目ワークショップ終了後には、監督と受講者が直接交流できる懇親会も開催しました。

#### 第3弾

開催日 2017年4月20日(木)、21日(金)の2日間  
講 師 篠原哲雄監督（『月とキャベツ』『はつ恋』『花戦さ』等）

#### 第4弾

開催日 2018年2月22日(木)、23日(金)の2日間  
講 師 星護監督（『笑の大学』、『警部補・古畑任三郎』、『世にも奇妙な物語』シリーズ等）

2016年12月に開催された竹下昌男監督による第2弾では、映画『ミッドナイト・バス』（2018年1月公開）のオーディションを兼ねたワークショップとなり、4人の受講者が実際に出演を果たし、その中の七瀬公さんは、作品の主要登場人物に抜擢されました。



### セミナー エンタメマーケター養成講座(全4回)

デジタルマーケティングを中心に、エンタメマーケティングの新しい手法を学び、エンタメ企業のデジタル戦略にすぐに活用できる講座です。参加者は、エンタメ企業のマーケティング、プロモーションやデジタルビジネス戦略の責任者・担当者など。第2回目には、懇親会が開催され、講師・ゲストスピーカー・受講者によるネットワーキングと意見交換が活発に行われました。参加者の満足度は100%、社内の同僚への推薦度80%と、高い評価を得ました。

開催日 2017年5月11日(木)、18日(木)、25日(木)、31日(水)の全4回

メイン講師 鈴木貴歩氏(ParadeALL株式会社 代表取締役 エンターテック・アクセラレーター)

ゲスト講師 第1回：梶 望氏(株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ EPICレコードジャパン オフィスRIA 部長)  
第2回：平良真人氏(THECOO株式会社 代表取締役CEO)  
第3回：徳力基彦氏(アジャイルメディア・ネットワーク株式会社 取締役CMO プロガード)  
第4回：藤田和重氏(アライドアーキテクト株式会社 SMMLab編集長)



### セミナー 3時間でいっくにわかる!映像基礎知識セミナー

2016年度に開催され好評だった2回目の開催。日々進化しつづける映像技術の「基礎知識」から「最新技術」までを、たった3時間で理解を深められるよう、「ハイビジョンから8Kまで」「2Dから3Dまで」「テレビから映画まで」幅広く最新映像技術の開発と普及に取り組んできた「ハイビジョン番組制作の生みの親」出口氏、「ハイビジョン・4Kなど高精細映像のプロフェッショナル」諏佐氏を講師に招き、4Kモニターでの実演や裏話を交えてわかりやすく解説しました。「技術職以外の視点での講義が良かった。」「映像が実際に見られて良かった。」「今後どういう展望があるか短時間で理解を深めることができた。」という声を頂くことができました。

開催日 2017年5月18日(木)

講 師 出口忠夫氏(東海大学工学部非常勤講師、日本大学藝術学部非常勤講師) 諏佐佳紀氏(ソニーPCL株式会社 技術部門 テクニカルディレクター)  
協 力 一般社団法人日本映画テレビ技術協会(MPTE)



### セミナー 福井弁護士コンテンツ法律セミナー

2015年から引き続き好評の福井健策弁護士によるセミナー、コンテンツ業界が今一番知りたいことは何かという観点で2回開催しました。

講 師 福井健策氏(弁護士(日本・ニューヨーク州)／日本大学藝術学部・神戸大学大学院 客員教授)

#### 第4弾 「コンテンツ業界が知っておきたい動画制作・公開の著作権と肖像権」

投稿動画の現状分析と、ビジネスに関わる著作権および肖像権の基礎知識を分りやすく解説。最新情報を共有するとともに、コンテンツ産業として動画と著作権をどう捉え対応すべきかについて講義していただきました。

開催日 2017年7月20日(木)

#### 第5弾 「コンテンツ業界が知っておきたい『動画制作・ライブイベントに必須の音楽著作権の基礎知識』」

動画制作やライブイベントに不可欠な音楽ですが、その著作権の基礎知識を分りやすく解説してもらい、最新情報を共有するとともに、「議論百出」の音楽著作権をコンテンツ産業としてどう捉え対応すべきかについて学ぶ場となりました。

開催日 2017年11月30日(木)



### セミナー 「日本人がアメリカ映画界で成功する方法」セミナー ～NYで監督になる方法・ハリウッドでプロデューサーになる方法～

日本人がアメリカで映画製作するヒントとなる講座を、映画『リベリアの白い血』をニューヨークにて製作した福永壮志監督、トム・クルーズ主演映画『オール・ユー・ニード・イズ・キル』をヒットさせた国際プロデューサー福原秀己氏を迎えて開催しました。経験者による現地でのエピソードや実例を紹介しながらわかりやすく説明。映像業界を中心に、海外事業やライツ・企画の部署から海外投資部門まで幅広く参加がありました。

開催日 2017年8月3日(木)

講 師 福永壮志監督(『リベリアの白い血』)  
福原秀己氏(プロデューサー『オール・ユー・ニード・イズ・キル』、明治座「SAKURA - JAPAN IN THE BOX」等)



### セミナー コンテンツ業界が知っておきたい「海外映像セールスの基礎知識」セミナー

海外映像セールスの基本的な流れや、業務に欠かせない翻訳発注の基礎知識について3部構成で解説。映像関連企業で海外映像セールス業務等に携わる方が多く参加しました。質疑応答では、海外映像セールスにおける音楽著作権処理の実情やローカライズに具体的に必要な視点など、深く掘り下げた質問が寄せられ、実務に役立つ内容となりました。

開催日 2017年9月7日(木)

講 師 第1部 海外映像セールスとは：山下良幸氏(東映アニメーション株式会社 営業本部 ライセンス事業部長代理 兼 海外営業室長)  
第2部 英語字幕発注の基礎知識：石井清猛氏(日本映像翻訳アカデミー株式会社JVTA) 映像翻訳チーフディレクター・講師)  
第3部 グローバル配信時代における字幕政策：浅川奈美氏(JVTA 経営企画・プロデューサー・講師)



共 催 日本映像翻訳アカデミー株式会社

### セミナー 映画脚本読み込み講座

映像業界でプロデュース・企画、演出、撮影に関わるスタッフや俳優を対象に、映画の設計図である脚本の基本的な知識、発想と構成の方法、人物設定、加藤氏自身の作品の解説から実際の撮影業務に役立つ読み取る技術を学びました。受講者からは、「濃厚な講義」「俳優としての視点だけではなく、脚本家やプロデューサー目線で作品作りを知ることができた」など意見が寄せられ、86%が脚本を書きたくなつたとなりました。

開催日 2017年9月14日(木)・15日(金)2日間

講 師 加藤正人氏(脚本家 日本シナリオ作家協会理事長)  
『雪に願うこと』『クライマーズ・ハイ』『ミッドナイト・バス』等)



## セミナー 映画プロデューサー養成セミナー 第2弾(全4回)

2016年度に高い満足度で好評を博した第2弾。映画の基本となる、企画の立て方・書き方、プロットの書き方、脚本の仕組みと構成理解、台詞の重要性、予算の立て方などをレクチャー。最終回では、『湯を沸かすほどの熱い愛』の中野量太監督をゲストに迎え、同作品の企画～脚本作り、キャスティングなど製作過程の話を交えて講義を行いました(2016年ゲストは『トイレのピエタ』松永大司監督)。受講者は、映画・TV・アニメなど映像コンテンツのプロデュース・企画の実務担当者その他、プロモーションや映像以外のコンテンツ業界からの受講もありました。

開催日 2017年11月10日、17日、24日、12月1日(毎金)全4回

講 師 安藤紘平氏 (映画監督 早稲田大学名誉教授)

最終回ゲスト:中野量太監督(『湯を沸かすほどの熱い愛』)



## セミナー コンテンツ業界が知っておきたい海外見本市・イベント攻略セミナー (実践編)ビジネスにつながるネットワークの作り方教えます

出発前準備から現地でのシミュレーションまで海外見本市出展にあたり押さえるべきポイントを、エクササイズも交え解説していただきました。映像関連企業で海外映像セールス業務担当者が中心に参加。講義に加え、英語での実践的なエクササイズは明日からでも活用できる具体的な内容で、とても勉強になったとの感想を数多くいただきました。

開催日 2017年12月21日(木)

講 師 石井清猛氏・浅川奈美氏(JVTA)

第一部:海外見本市・イベント出展でコンテンツを発信するとは?

第二部:魅力を伝える英語PRマテリアル(チラシ)の制作のポイント

第三部:挨拶～ピッチング～アポ取りの実践シミュレーション



## セミナー 映画『永遠の0』編集者 宮島竜治氏による 映画編集基礎講座～プロの映像編集を目指す方へ～

映画編集者を志望している方、「もっと映画編集の力を伸ばしたい」編集助手の方、映画業界人として映画の編集を勉強したい方を対象に、初心者にも分かりやすく、宮島氏による講義と撮影素材を教材にした編集例により、【映画】として質の高い映像を制作するテクニックを学びました。

開催日 2018年2月2日(金)

講 師 宮島竜治氏 (日本アカデミー賞最優秀編集賞を3度受賞)



## セミナー コンテンツ業界が知っておきたい中国ビジネス攻略セミナー

日本人が意外と知らない中国コンテンツ市場概況および最新事情や、日本コンテンツとの違いから中国展開時によくあるトラブル実例やその対処法までを、「1.ビジネス編(19日)」、「2.法律編(20日)」、「3.中国語ローカライズ編(21日)」の3つのテーマに分けて学べる講座を中国の旧正月の時期に合わせて開催しました。3日間でのべ160人が参加、中国コンテンツビジネスへの高い関心から熱気あふれる講座となり、2018年4月に再度開催となりました。

開催日 2018年2月19日(月)・20日(火)・21日(水)

講 師 ビジネス編+法律編:分部悠介氏(弁護士、弁理士、IP FORWARDグループ総代表・CEO)  
中国語ローカライズ編:石井清猛氏・浅川奈美氏 (JVTA) 李寧氏(JVTA 映像翻訳ディレクター)



※各セミナー講師の役職は開催日時点のものとなっております。

## クリエイターを中心とした グローバルコンテンツ エコシステム 創出事業費補助金

経済産業省 補助事業

経済産業省の平成29年度予算による「クリエイターを中心としたグローバルコンテンツエコシステム創出事業費補助金」(約30億円)を受け、

① クリエイター等の海外挑戦支援事業

② 多様な資金調達を目指した試作コンテンツ等開発支援事業

③ 正規版コンテンツ等の海外同時展開支援事業

を実施するもので、コンテンツ産業が自立的・持続的に発展するエコシステムの創出につなげることを目的としています。

2018年4月5日より公募を開始し、

- ① クリエイター等の海外挑戦支援事業は、一定の評価を得ているクリエイターを中心にコンテンツの海外展開を行う際のプロモーション等を行う事業に対し、
- ② 多様な資金調達を目指した試作コンテンツ等開発支援事業は、グローバルコンテンツ作品の開発を目的に、試作コンテンツ(パイロットフィルム等)の制作等を行う事業に係る経費及び、資金調達に必要なプロモーションに係る経費等について、
- ③ 正規版コンテンツ等の海外同時展開支援事業は、コンテンツ等を国内及び国外で同時展開する際のプロモーション等を行う事業に対し、それぞれ、その費用負担を軽減するため必要経費の一部を助成するものです。

### 主な活動内容

- 補助金の対象や申請方法などを紹介する「補助金説明会」は2018年4月末時点で650名の参加者がありました。
- 2017年5月以降、申請を検討する事業について相談を受ける「補助金相談会」を毎週開催しています。  
また、メールや電話での相談も随時受け付けています。
- 交付決定を受けた事業者を対象に、補助を受ける経費の処理方法について基本的なルール説明等を行う「事業開始オリエンテーション」を毎週開催しています。

## 2018年度 新規事業

### 平成30年度メディア芸術海外展開事業

文化庁

文化庁主催のメディア芸術祭の受賞作を中心に海外のイベント・コンクール・祭典等に出展し、クリエイターの海外展開も同時に支援する事業です。

### 映画スタッフ育成事業

文化庁

将来の映画スタッフを育成するために、大学生・専門学校生に映画撮影現場での職場体験をしてもらうインターンシップ事業です。

### アジアにおける日本映画特集上映事業

文化庁

アジアにおいて日本映画の過去・現在・未来と日本文化への理解を深めることを目的とした事業です。

### フィルムコミッショング強化支援事業

ジャパンフィルムコミッション(JFC)

JFCと協働して、全国フィルムコミッションの強化・口頭環境の整備・海外口頭誘致等の活動を積極的に行っていきます。



## 京都国際マンガ・ アニメフェア (京まふ)2017

京都市 委託事業

### 6年目をむかえ「京まふ2017」は、 過去最多の出展者数を記録

「京都国際マンガ・アニメフェア(通称:京まふ)2017」において、日本部門を拡大リニューアルした「京都国際漫画賞」の海外部門を中心に設置し海外広報を請け負いました。

京まふ  
2017  
とは

京都から世界に発信する  
関西最大級のマンガ・アニメイベント

コ・フェスタ2017のオフィシャル・  
イベントKYOTO CMEX 2017の  
アニメ・マンガ部門の統合イベン  
トである「京まふ」は、2017年9月  
16日(土)・17日(日)の2日間で、台  
風による悪天候にもかかわらず

34,058名の来場者数を記録、出展社は過去最多となる81社  
となりました。

### 海外PR

#### ● 京都国際漫画賞2017-3つの国と地域から318作品がエントリー-

海外のマンガ家志望者に、日本でプロデビューのきっかけを提供するため2015年にスタートした「京まふ漫画賞」。今年度は日本部門を拡大し「京都国際漫画賞2017」としてリニューアル。海外部門では、これまでの中国と台湾に韓国も加え、対象を拡大して実施しました。中国262、台湾35、韓国21の計318作品が集まり、中国からは楽活さん、台湾からは常勝さん、韓国からはpeongさんが大賞に決定。それぞれの受賞者を京まふマンガ出張編集部に招待し、授賞式を行うとともに、各編集部への原稿持ち込みを実施しました。



### 2年連続日本デビューの快挙!!

#### 第2回台湾受賞者nyaroroさんが日本デビュー

第1回大賞受賞で台湾ナンバーワン同人作家ANTENNA牛魚さんによる小学館ヒバナでのデビューに続いて、第2回台湾部門大賞受賞者nyaroroさんの新作『ジュリアンと咎』が、スクウェア・エニックスの月刊「Gファンタジー」2017年10月号で読切掲載されました。2年続けて日本デビューが決まるという、大きな成果をあげることができました。また、受賞記念として、京まふ漫画賞2017のイメージイラストの制作を担当していただきました。



## 京都映画企画市

京都府 委託事業



「日本で唯一、メジャースタジオで自分の作品企画を映像化できるコンテスト」として、時代劇制作の拠点である京都の歴史と環境を活かし、新しい才能の企画実現の仕組みづくりを目指します。映像製作者を対象に、京都府内での撮影を想定した時代劇ジャンルの作品を募集し、業界の一線で活躍する映画関係者が応募企画を評価する「企画コンテスト」のほか映画企画個別相談会を同時開催。2017年10月29日京都文化博物館にて開催されたプレゼン大会では、熊切和嘉監督はじめ映画プロデューサーが審査員として参加。プロ製作の目標や企画作りのノウハウを学ぶ機会を提供するとともに、書類選考を通過した5企画の中から『冬牡丹と人魚』(谷本佳織監督/小松恵子脚本)が優秀賞に選出されました。優秀賞企画には350万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与され、東映株式会社京都撮影所の協力のもと、太秦で撮影・制作が行われました。

時代劇の拠点としての京都の  
優位性を活かし、クリエイティブに  
関わる人材の活動支援を実施



優秀賞作品企画

### 『冬牡丹と人魚』 谷本佳織(映画監督)、小松恵子(脚本家)

両肩にコブのある弥助が恋したのは、見世物小屋で人魚として働く脚の不自由なお小夜だった――

「人魚姫」の物語が時代劇として復活。しかし、主人公は人魚ではなく人魚に恋する男。現代にも海外にも通じる普遍的な恋と葛藤が、江戸時代の見世物小屋という妖しく謎めいた世界で繰り広げられるダークファンタジー。



京都の中小企業のビジネス拡大と新規ビジネス創出の促進、  
そして京都の中小コンテンツ企業、クリエイタービジネスの  
拡大を目的にしたセミナーを4回開催しました。

## 京都府コンテンツ 活用ビジネスセミナー

京都府 再委託事業



### 第1回目 2018年2月15日(木) 開催場所:京都市

#### 「中小企業のためのYouTube動画マーケティング講座」

中小企業が小予算でビジネス拡大・新規市場開拓を成し遂げられるよう、確実に成果の見込めるYouTube動画を活用した実践的なマーケティングのポイントを披露しました。

### 第3回目 2018年3月14日(水) 開催場所:京都市

#### 「働き方改革のためのクラウドソーシング活用セミナー」

クラウドソーシングの特徴や活用法を、具体事例を紹介しながら働き方改革対策に役立つヒントを提示しました。相談会の実施を通じ効率的な生産管理の実現を目指しました。

### 第2回目 2018年2月16日(金) 開催場所:京都市

#### 「中小企業のためのクラウドファンディング活用セミナー」

中小企業を対象にクラウドファンディングの特徴や活用法を解説。成功事例の紹介や相談会を通じ効率的なビジネス展開の実現を学びました。

### 第4回目 2018年3月15日(木) 開催場所:舞鶴市

「誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス~フィルム・コミッションの可能性~」  
フィルム・コミッション設立意義や活動内容、成果を具体事例にそって詳しく解説しました。ロケ撮影で地域活性化を目指す観光事業社にとって有意義なポイントを披露しました。

## VIPO英語サイトのリニューアルと英語版パンフレットの製作

●ホームページ英語版のリニューアル  
海外からの問い合わせの増加に対応すべく、J-LOP4、CoFesta、JACC、セミナーなど海外事業者に関係のある事業やサービス内容(マッチング、紹介、情報提供)を紹介する英語サイトのリニュールを進め10月に公開しました。

●英語版リーフレットの製作。  
英語サイトの内容に連動させながら2016年度の活動内容に更新。11月に完成しました。



## 事務局長インタビュー

2016年よりスタートした、事務局長インタビュー。コンテンツ業界の旬なトピックやイベント等をテーマに、市井事務局長がインタビューを行い、VIPOウェブサイトにほぼ毎月1本の記事を公開しています。

**2017年4月** 「日本コンテンツが、海外イベントへ効果的に出展するために必要なものとは」  
国内外で数多くのイベントを開催している「リードPOP」のマーケット担当者と、世界中のオタクを繋ぐ国際オタクイベント「IOEA」の担当者にインタビュー。

**2017年5月** 「文化庁・映画業界が一丸となって行う、若手映画作家育成プロジェクト『ndjc』とは」  
『ndjc』プロジェクトを統括する文化庁芸術文化調査官とndjc2017のスーパーバイザー、ndjc出身映画監督を迎えてのインタビュー。

**2017年6月** 「日本のプロパティを世界に広げる、ライセンシングビジネスに迫る」  
世界を舞台にしたライセンシングビジネスについて「ライセンシング エキスポ」の主催者や出展事業者の方々にインタビュー。

**2017年7月** 「松竹・アミューズから学ぶ、コンテンツのグローバル展開・成功の秘訣」  
(「コンテンツ東京2017」の特別講演を対話形式に再構成。)

**2017年8月** 「内閣府に聞く、コンテンツ産業を支援する「知的財産推進計画2017」」  
「知的財産推進計画2017」の発表を受け、本計画の成り立ちやポイントを内閣府 知的財産戦略推進事務局 事務局長にインタビュー。

**2017年9月** 【広報特別企画】「世界の映画界で活躍する人材を数多く輩出するアメリカ名門映画学校・USCの現役学生にカリキュラムを聞く」  
著名な映画人を数多く輩出する南カリフォルニア大学 映画芸術学部 映画・テレビ制作学科に在籍する学生を招き、最先端の映画教育プログラムについてインタビュー。

**2017年9月** 【J-LOP4企画】「日本コンテンツのグローバル展開におけるパートナー、海外IPエージェント4社が語る日本企業に期待すること」  
「コンテンツ東京2017」において、海外IPエージェント4社を招聘し「海外エージェントビジネスマッチング」を実施。その4社の責任者へのインタビュー。

**2017年10月** 「期待の日本人若手映画監督 福永壮志が長編映画デビュー前、デビュー後に世界で学んだこと」  
米国で資金調達し製作した『リベリアの白い血』が、「ベルリン国際映画祭」のパノラマ部門に正式出品され数々の賞を獲得した福永壮志監督へのインタビュー。

**2017年11月** 「ソニー・ミュージックエンタテインメントCEOが明かすマネジメントの極意(VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」で実施した経営者講演会を再構成。)

**2017年12月** 「香港、台北、北京、フランクフルト、参加者が語るブックフェア—出版ライセンス海外展開の現状と課題、成功事例—」  
世界最大の書籍見本市「フランクフルト・ブックフェア」をはじめ、世界各国で開催されているブックフェア。出版業界の海外展開や、国際ブックフェアの様子などを、主催者や事務局、出展社の方々にインタビュー。

**2018年1月** 【J-LOP4企画】「セミナーでは語られなかった“成功するアーティスト”的SNS戦略—メキシコ、ブラジルで日本のアーティストが成功するためには?」「『中南米からの熱い視線』～地域ごとの具体例からみる、中南米での日本の音楽の需要～セミナー」の登壇者である音楽プロモーター、YAZ NOYA-COLLINS氏(アメリカ)、近沢隆氏(ブラジル他)、Mami Togashi Goshozono氏(メキシコ)を迎えてのインタビュー。

**2018年1月** 【J-LOP4企画】「アヌシーディレクターが語る、アニメーション市場戦略の裏側——「日本アニメ」のポテンシャルは?」  
「アヌシー国際アニメーション映画祭」関係者3名を招き、映画祭と併設見本市「MIFA」の紹介セミナーを開催。日本アニメーションへの期待、映画祭のゲストカントリーなどについてインタビュー。

**2018年1月** 【JFC理事長・事務局長インタビュー～ロケ支援だけじゃない! プロモーション、ファン作りにも使える地方創生時代のフィルムコミッションの舞台裏～】  
特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッションの理事長 田中まこ氏と事務局長 関根留理子氏を迎え、フィルムコミッションの最新事情等についてインタビュー。

**2018年1月** 「公開直前! 映画『ミッドナイト・バス』より七瀬公さんスペシャルインタビュー!」  
VIPOが開催したアクターズワークショップの受講者で、映画『ミッドナイト・バス』に出演の七瀬公さんにアクターズワークショップや映画出演についてインタビュー。

**2018年3月** 【J-LOP4企画】「中国がコンテンツ産業にかける期待。日中アニメ産業は協力できるのか?」  
「北京漫画アニメゲーム産業協会」視察団の来日にあたり、「中国コンテンツ産業 最新動向セミナー」を開催。秘書長 劉春剛氏に、中国のアニメーション市場の現状等についてインタビュー。

## メールニュースの配信

VIPO会員とメールニュースの登録をいただいた約10,000名の方々を対象に、セミナー・イベントのご案内や補助金の公募など幅広い情報を定期的にお届けしています。

また、最新の活動レポートや事務局長インタビューなどをご案内する総合ニュース「VIPO PRESS」を月1回配信しています。



JFC理事長・事務局長インタビュー  
～ロケ支援だけじゃない!  
プロモーション、ファン作りにも使える  
地方創生時代のフィルムコミッションの舞台裏～



2018年1月号の総合ニュース「VIPO PRESS」